

“遊び”と“遊びじゃない”の区別とは?? (園長つぶやき)

先日、2階の遊び部屋に行ったところ、片付けの最中でした。そこで何人もの子どもたちが、ガムテープを切り、裏返しに止めて足や手に付けているのです。一瞬「片付けしないで何をしているのかな?」と考えましたが、

すぐに理由が分かりました。ガムテープの粘着力を使って、じゅうたんに落ちているゴミを取っていたのです。「なるほど～」と感心してしまいました。どこからスタートしたかは不明ですが、きっと誰かが気づ



き始めたことを、周りの子ども達が見ていて「やってみよう」となったことが広がっていった結果ではないかと思えます。また、今日が初日ではなさそうでしたね。私たちは子ども達の“遊び”が色々な学びに繋がると考えていますが、子ども達にとっての“遊び”と“遊びじゃない”はいったいどこで線引され、だれが決めるのか!?このテープを使ってゴミを拾う行動は、きっと“遊び”の部類には入らないでしょう。それでも、子ども達は、とても一生懸命にこのゴミ取りに取り組んでいました。どんなことを考えながらやっていたかは、子どものみが知ることですが、“苦痛を我慢してやらされている”顔では全くありません。自分でやろうという子ども達ばかりです。だって、よく取れますもんね!何度もガムテープを使っ

て、繰り返してましたが、こうなると、今度はガムテープの無駄遣いになるのではないか??という気持ちが段々出てきますが、そこはしばらく様子を見ましょう。もし、続きそうであれば、掃除用粘着シートのコロコロテープを購入



したいと思えます。話がそれましたが、自分たちで気づき行動することは良いコト!ここが大切ですね。私たちも“遊び”という言葉に惑わされず、子ども達の“やりたいコト”と“今必要なコト”をしっかりと理解しながら、今後の園生活を充実させていきたいと改めて感じます。ちなみに、10の姿で考えるならば、特に“健康な心と体(健康)”と“思考力の芽生え(環境)”の成長につながる場面かなと思えます。(R2・6・23)